

〔續日本後紀^九〕承和七年五月癸未、後太上天皇崩于淳和院。戊子、此夕奉葬後太上天皇於山城國乙訓郡物集村、御骨碎粉奉散大原野西山嶺上。

〔三代實錄^二〕貞觀十四年五月十五日甲申、勅遣從五位上守右近衛少將藤原朝臣山蔭到山城國宇治郡山科村、郊迎勞渤海客。

〔古今和歌集^十〕深草のさとしすみ侍て京へまうでくとて、そこなりける人によみておくりける。
なりひらの朝臣

年をへてすみこしさとをいで、いなばいと、深草野とや成なむ

〔三代實錄^四〕仁和元年二月八日甲午、先是神祇官奏請、去貞觀十七年四月十七日有勅、以山城國葛野郡上木島下木島兩里乘田五段奉充、從一位平野神社、而班田使圖帳不注神田、收公斑給百

姓口分望被返充。
〔山州名跡志^{十一}〕桂里川、西ニアリ、里兩所南北ニ在テ、上桂中桂下桂ト云。

〔古今和歌集^十〕かつらに侍ける時に、七條中宮とはせ給へりける御返事にたてまつれりける。
伊勢

久方の中におひたるさとなればひかりをのみぞたのむべらなる

〔夫木和歌抄^{三十一}〕こまの、里山狗野前大納言公任卿

山ちかみあさたつ雲とみえつるはこまの、里の煙なりけり

此歌春日よりかへり侍けるに、山づらにけぶりの立けるをとへば、こまの、里といひければよめると云々。

〔今昔物語^{三十一}〕鳥羽郷聖人等造大橋供養語第二

今昔鳥羽ノ村ニ大キナル橋有ケリ、此レハ昔ヨリ桂川ニ渡セル也。